

バリゴヤの頭

メンバー Mu、Ka、Hi、Ka

記：Ka

バリゴヤの頭に1番優しいルートで登って来ました。

1番優しいと表現がおかしいかもしれませんが、急登を登りピストンで降りるルート。4時半に田井ノ瀬を出発して6時半には登山口に。

同行のHiさんは女子会の読図の先生で、進歩の遅い私達にお付き合い下さり、いつも感謝です。ただ読図だけでなく、私達に必要な事も織り交ぜて教えてくれる。

今回は、自分達で考えて進んでくださいと、何も言わず一番後ろから見守ってくれた。

地図に表示されている破線が旧水路である事を現地で初めてわかった。

Kaさんは、しっかり準備をしている様子で「旧水路なんやね」と。

(私とはレベルがチガイマス)

急登をゆっくり登り、久しぶりの山歩きなんで、どうしたら楽に登れるだろう？と考えながら、体重のかけ方がスムーズに今回は出来たのか以外としんどいと感じる事もなく登って行く。途中の休憩でHiさんが何やら物色を始める。

何かと思えば、水晶の混ざった石を探していると。

え～！そんなんあるん？と皆で宝物探し状態に。キラキラひかる水晶がちりばめられた石を見つけ、休憩時間なんて関係なく楽しんだ。

登山で新緑や、苔、花を楽しむだけでなく、こんな楽しみ方もあるのかと再認識した。

何度かのニセピークを過ぎて無事にバリゴヤの頭に、稲村が岳方面の景色が良かった。同じ日にシリウスの男性陣が別ルートよりバリゴヤの頭目指して登っているのですが、山頂で会う事はなかった。私達の方が早く着くのはわかっていたので、ちょっとおしゃれに？葉に「お先に！女子会」とKaさんが書いて山名板の所に。気づくかなと思ったが、Iさんが気づいてくれた事を後のラインでわかった。

いつ雨が降ってきてもおかしくない天気の日行だったが、なんとか対した雨に合うこと事もなく、登山口に戻ってきました。

温泉でゆっくり休憩をする頃には、雨も本降りになってきた様子。

男性陣、雨で大変な事になっていないかな？と思いながら皆、お土産の水晶の石と帰宅した。

水晶の石は仕事場のパソコンの横が指定席となって私の癒しになっています。